



1団体3氏を市民憲章表彰



△雨天以外は毎日清掃するローヤルの皆さん

市民憲章の模範的実践者に贈られる富士市民憲章表彰。4月23日に市役所で行われた市民憲章の平成2年度総会で、下記の皆さんのが表彰されました。

・株ローヤル東京支店富士出張所

自動車部品などを販売する社員11人の会社。2年前、瓜島町に出張所を開設以来、会社の周辺から近くの小潤井川堤防まで全社員で清掃しています。

・村瀬峯芳さん（鮫島・70歳）

地域に花壇等をつくり、街の美化を推進。松林の清掃も率先して行い、環境の保全に努めています。

・荻野祥吉さん（平垣・76歳）

交通指導員として交通事故防止のために活躍。特に登下校時には街頭に立ち、子供たちを守っています。

・三木ちよさん（富士見台2・72歳）

吉原北中の通学路や富士見台公民館の周りの花壇を長い間清掃整理し、人々にすがすがしさを与えてています。

ふるさとの昔話



△八木久成の墓

柚木の蓮盛寺には備中（岡山県）の武士のお墓があります。今回は、この武士に関するお話を、前回に引き続き柚木の福島清二さん（六十三歳）に伺いました。

かつてを治す八木久成

柚木で倒れた武士

江戸時代の終わりごろ、嘉永三年のことです。

備中松山藩の八木久成という武士が、江戸から国元へ帰る途中、柚木まで来ると病に伏せてしまいました。やもなく、柚木の吉沢さんという篤農家に身を寄させてもらい、病気を治すことにしました。

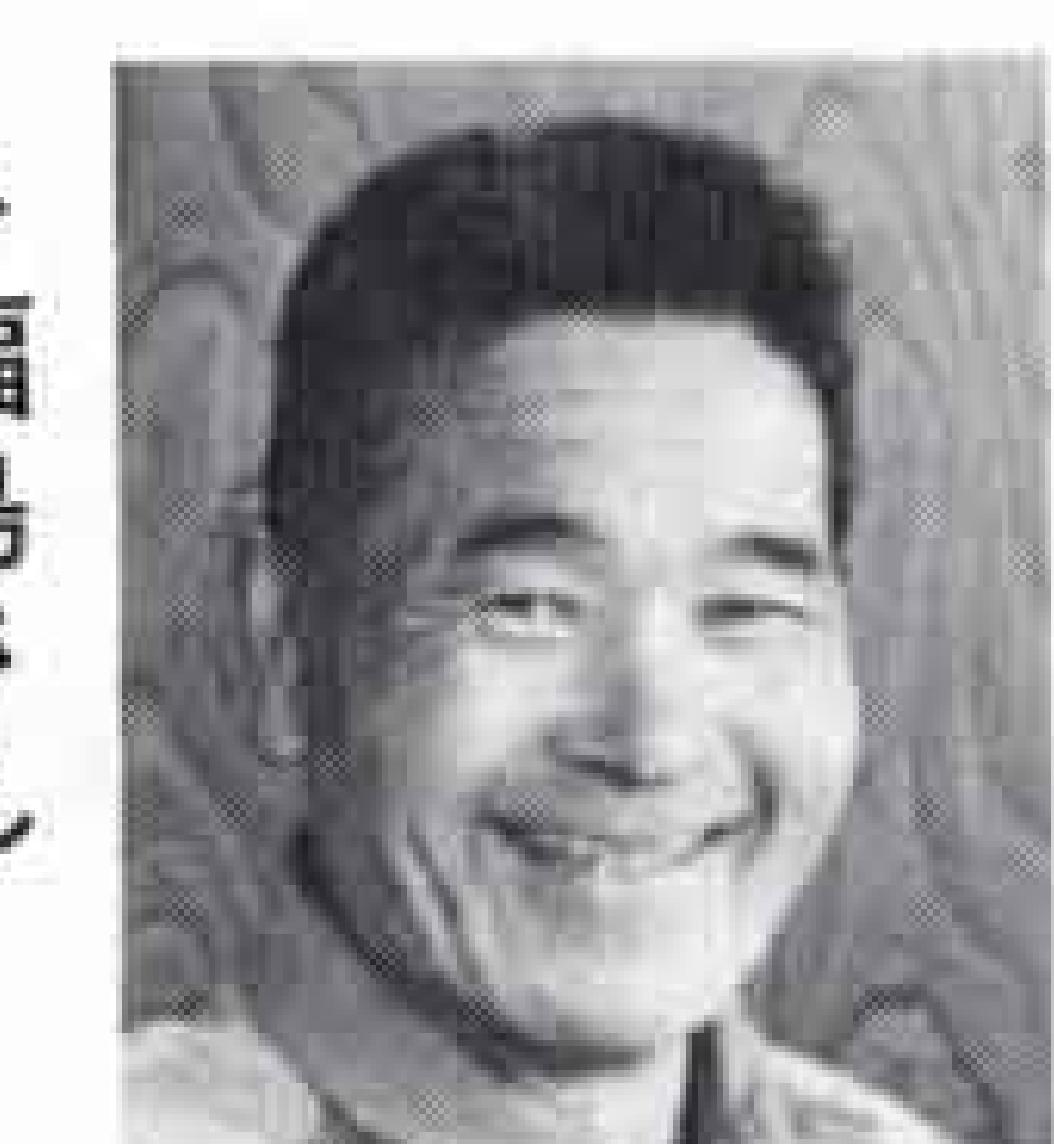
しかし、「国元へ早く帰りたい」という気持ちとは逆に、病は重くなるばかりで、どうどう息を引き取ってしまいました。

人々は近くの蓮盛寺にお墓を建て、ねんごろに葬りました。

おちよこにお茶を

ところが、時が過ぎると、お墓は無縁仏として忘れ去られてしましました。

ある日のこと、柚木の福島きんさんという信心深いおばあさんが夢を見ました。夢には武士があら



△福島さん

福島きんさんは、福島清二さんのおばあさんです。今では、おちよこを上げる人は少なくなりましたが、人知れずおきい銭や花を上げる人がおり、人々の信仰を集めています。

人知れず祭られる

おばあさんは、早速お墓を掃除し、お茶を上げました。そして、周りの人にこの話を伝えました。



曾我八幡宮(厚原西)の曾我兄弟像

地名の由来

武士の名は地名から

鎌倉時代から室町時代の武士は、住所の地名を自分の姓とする習慣がありました。

例えば、源頼朝に仕えた鮫島出身の鮫島四郎宗家。雁堤を築いた古郡氏は、初代が甲斐国古郡郷に住んでいたので古郡と称しました。また、曾我兄弟は小田原の曾我の里に住んでいたので曾我十郎・五郎と呼ばれ、頼朝夫人の政子は伊豆韭山の北条の出身なので北条政子と言われました。



こちら編集室

はじめまして。

四月から建設部より編集室

に配属になりましたKです。

これまで3年にわたり、図面をかいたり現場監督の毎日でした。それが、思いもしない編集室へ。スコップをカメラに、スケールを鉛筆にかえで、張り切っていますが、なぜか空回り。早く優秀な先輩の皆さんのようになればと思っています。ヨイショと。